

アメリカ・ミシガン州駐在員便り

2006/3/27 駐在員：望月 孝幸

広大な駐車場における設備

アメリカでの移動は車がほとんどで、ショッピングモールや映画館、イベントセンター、大学構内など多くの人が集まるところには必然的に巨大な駐車場が存在します。

駐車場のスペースが大きくなればなるほど障害を持つ人には駐車場内を歩く距離が長くなるため、必ず入り口付近に多くの駐車スペースが設けられています。

また、大きな駐車場は夜間になると暗く危険であるため、所々に写真のようなブースが設けられ、ボタン一つで警察へ連絡できるようになっています。

大きな駐車場では自分の車をどこに駐めたのかわからなくなることもしばしば起こります。しっかり駐めた場所を覚えておくことは必要ですが、それでも見つからない場合は車の鍵につけられる無線ボタンを押すと、車のクラクションが鳴り続け、自分の車を見つけることができます。日本の車にはそのような装置はついていないはずですが、大きな駐車場では大変役に立つ装置です。日本では騒音の関係で取り付けられていないのでしょう。



広大な駐車場にはこのようなブースが設けられていて、緊急時の警察への連絡はボタン一つでできます。また、障害者など車の乗り降りに手助けが必要な方も利用することができます。